※令和４年度以降入学生用

学校番号	208

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	数学Ｂ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	新編　数学Ｂ（数研出版）						
副教材等	新課程　教科書傍用　3TRIAL　数学Ｂ〔数列，統計的な推測〕 チャート式　解法と演習　数学Ⅱ＋Ｂ						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目では「数列」「統計的な推測」について学びますが、数学Ⅰ・Ａよりもさらに理論的に深みのあるものになり、概念もより抽象的になります。また、数学Ⅰ・Ａの知識も必要です。
・授業では、課題や問題に対して自ら考え、自ら解決するための活動を行います。
・課題や問題を解決するにはただ受動的に、一方的に教師の話を聞くだけではなく「理解→予想→解決→振り返り」のサイクルを意識し、自分の考えを発表したり、議論したりすることが大切です。
・授業が終わったら、その日のうちに TRIAL の問題を解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。途中の考え方を書くことで、自分でどのようにその問題を解決しようとしたのかを振り返ることができます。

2　学習の到達目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1)　数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，数学と社会生活の関わりについて認識を深め，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2)　離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現し考察する力，確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力，日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。
(3)　数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・数列，統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・数学と社会生活の関わりについて認識を深めている。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることができる。	・離散的な変化の規則性に着目し，事象を数学的に表現したり考察したりすることができる。 ・確率分布や標本分布の性質に着目し，母集団の傾向を推測し判断したり，標本調査の方法や結果を批判的に考察したりすることができる。 ・日常の事象や社会の事象を数学化し，問題を解決したり，解決の過程や結果を振り返って考察したりすることができる。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第1章 数列	1節　等差数列と等比数列	a: 等差数列と等比数列について理解し，それらの一般項や和を求めることができる。 b: 事象から離散的な変化を見いだし，それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。 c: 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート 振り返り パフォーマンス課題
		2節　いろいろな数列	a: いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解している。 b: 事象の再帰的な関係に着目し，日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え，数列の考えを問題解決に活用することができる。 c: 事象を数列の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート 振り返り パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

2学期	第1章 数列	3節 漸化式と数学的帰納法	a: 漸化式について理解し，事象の変化を漸化式で表したり，簡単な漸化式で表された数列の一般項を求めたりすることができる。数学的帰納法について理解している。 b: 自然数の性質を見いだし，それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに，他の証明方法と比較し多面的に考察することができる。 c: 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート 振り返り パフォーマンス課題
	第2章 統計的な推測	1節 確率分布	a: 標本調査の考え方について理解している。確率変数と確率分布について理解している。 b: 確率分布や標本分布の特徴を，確率変数の平均，分散，標準偏差などを用いて考察することができる。 c: 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート 振り返り パフォーマンス課題

※令和４年度以降入学生用

3学期	2章 統計的な推測	2節 統計的な推測	a:正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解している。 b: 目的に応じて標本調査を設計し，収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして，母集団の特徴や傾向を推測することができる。標本調査の方法や結果を批判的に考察することができる。 c: 事象を統計的な推測の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価･改善したりしようとしている。	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	発問評価 ノート確認 課題プリント 小テスト 定期考査	授業態度 レポート 振り返り パフォーマンス課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度